

## Fungi

橋本 ルイコ

### 分解者

「家に生えたキノコの成長を止める方法？ ええ、いつか成長は止まりますよ、キノコが家の木材を食べつくしたら。家は倒れますけど。」

建築業者から、お客様の木造建築に生えてきた異物（キノコ）の検査依頼があり、吹春先生にご相談した時の衝撃の回答です。

「菌類は分解者」。教科書にはそう書いてあり、知識として知っていたことです。

がしかし、それが森の中でも実験室でもなく、日常生活で行われているという現実遭遇し、家を倒壊させるほどの実力を目の当たりにして、文字どおり人間の暮らしに根付いている当たり前なのに、たいへんな感動を覚えました。

折角建てた新築住宅の家主様には誠に申し訳ないことですが、私にとってはメルヘンなだけで全く興味のなかったキノコとのインパクトのある出会いでありました。

因みにこのキノコはサルノコシカケの一種との報告をいただき、もちろんキノコ記念として保存してあります。

### サイズ

仕事として最初に取り扱ったのは家畜である牛や豚、鶏です。次に犬・猫などの愛玩動物、続いて細菌。扱う対象が徐々に小さくなっていきました。

見えない対象を扱うのは苦手です。見えなほど対象との関係が間接的になってしまうものですから。特にこれらの生き物は人との関係が非常に密接であるがゆえに、彼らを扱っているという感覚が無くなっていくのです。（つまり人間相手の仕事になってしまうのです）

そのとき現れた救世主が Fungi です。

キノコ。。ではありません。

英語では同じ Fungi ですが、カビの方です。いわゆる「黴菌」。カビの生き様も非常に興味深く、なんとといっても彼らは目で見ることができません。天恵と思うほどに彼らに魅せられていたところ、先のようなきっかけで Fungi の新たな一面に出会うこととなった次第です。

カビとキノコ。似て非なる彼らを両方知ることは、より深く彼らを知ることになるのだろうか。。興味のなかったキノコに、少しだけ歩み寄ることにしました。

歩み寄ってみれば、その認知度の高いこと（当たり前ですが）。「もや〇もん」の功績によるカビの好感度アップなど太刀打ちできるはずもなく、（私にとって）思いもよらぬキノコ人気を知ることになったのでした。

## フィールド

初めて観察会に参加させていただいたのは、とある夏の佐倉城址公園。その時は近年稀にみる不作の回と言われました。

普段の観察会では、一見空っぽに見える森であっても、収穫後の観察テーブルには大量のキノコが並びます。どこにこんなに隠れていたかと毎回驚くのです。にも拘わらず、今考えてもその回は本当に採れなかった。。けれど圧倒的に楽しかった。

そしてその楽しさを分かち合うため、菌糸で仲間を絡めとるが如く、着々と仲間を増やし続けているのが「チーム石井」です。(談話会通信 25号 14-15p 参照)

## アプローチ

観察会にお誘いした仲間がその後も継続して参加してくださるのは、やはりキノコは楽しいと感じていただいたからでしょうか。キノコに人が集まるのも、キノコの不思議のひとつです。

各人にとってのキノコの魅力はさまざまでありましょう。キノコに人が集まる理由を勝手に想像するに、アプローチの多様性と懐の深さがその要因のような気がします。

キノコほどさまざまなアプローチを以て人が集うものを、私はあまり見たことがありません。味わう方、採集の楽しみ、生態への興味、形の面白さ、など興味の対象が見事にバラバラなのです。

好きなものの集まりにおいて、好きな理由は似てくるものかなと思ってしまいがちですが、どのような形でキノコに近づいてもいいし、懐の深いキノコさまは、そんな興味をまとめて受け止めて、ゆる〜く私たちを取り込んでひとつの集合体になっているように思えるのです。

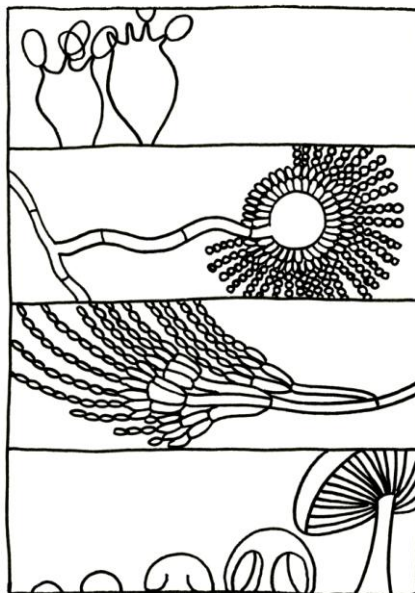
では、私自身は何ゆえに楽しいのか考えてみますと。

食べるためでも採集のためでもないようです。不作でも楽しいし、キノコの種類も実はほとんど覚えていません(すみません)。

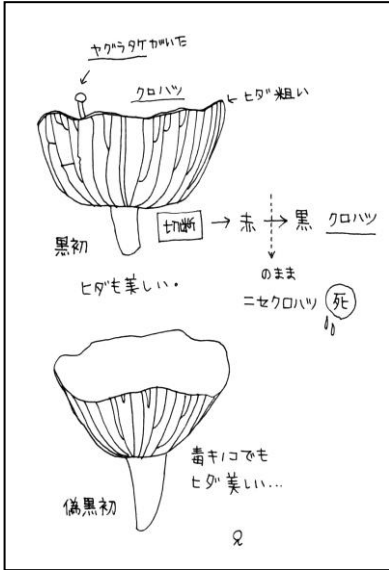
どうやらキノコもカビも、みな何かの入口であるようです。彼らの生き方を知り、次にはもうそこにはない彼らを線で記憶していくのが好き、というのが私に判る確かな感覚です。

カビは、キノコほど育てるのが難しくありません。掌の中で、小さな世界の生態系を見届けることができます。ご存じのとおり、一般にカビは子囊菌であり、キノコを作るものもいます。カビを培養後に放置しておく、たま〜にですが子実体のように見えるものを作るものがあります。しかし残念ながら菌糸の束であることがほとんどで、まだ培地上で子囊菌キノコを採ったことがありません。

いつか培地上で小さな傘を開かせるのが密かなる野望です【ル】。



みなさんは、出会ったきのこたちを、どのように覚えていきますか？  
橋本レイコさんは、スケッチと気がついたことをメモしている  
そうです。今年度のノートから一部をご紹介します。(編)



平成26年は台風19号で1回休み  
佐倉城址公園と泉自然公園  
gooHPa  
レイコ

